

「健康日本21こうなん計画(案)」に関するパブリックコメントの結果

意見の募集期間 平成24年 11月15日 ～ 平成24年12月17日

意見を提出された方 1名

意見の件数 6件

【第2章 市の現状 一次計画の評価(たばこ・アルコール)】

No 1

意見の概要	「喫煙」「飲酒」に関して、小中学生の平成23年調査で現状値(実態)を把握しなかったことは問題である。その理由を説明されたい。
市の考え方	計画策定にあたり、実態把握調査に小中学生の喫煙・飲酒の項目を加えることの是非について検討を行いました。法により、未成年の喫煙・飲酒が禁じられていること、調査項目に加えることにより、喫煙や飲酒に興味を持つ機会となるのではないかとといった配慮から調査項目からはずしています。

【第4章 健康づくり施策方向性 健康な生活習慣を实践しよう(喫煙・飲酒)】

No 2

意見の概要	目標指標に未成年者の喫煙・飲酒をなくす事があげられている。しかし、未成年者の範囲が16～19歳に限定されている。小中学生の喫煙・飲酒は全くないことを前提としており、問題である。よって、目標指標に小中学生を加えるとともに、学校等において喫煙・飲酒防止に係る教育を行うことも盛り込まれたい。
市の考え方	小中学校では保健体育の授業において、喫煙・飲酒防止に係る教育が行われています。目標指標にあります未成年者、とりわけ小中学生の喫煙・飲酒をなくすために、今後も学校と関係機関が連携し健康教育を進めていきます。

【第4章 健康づくり施策方向性 社会生活を送るために必要な健康づくり(こころの健康)】

No 3

意見の概要	「こころの健康づくり」に関しての取り組みとして、各種相談会の開催を市民に広く情報提供されるよう、ホームページの充実や関係機関との連携を図られたい。
市の考え方	自殺対策には、自殺に対する正しい知識の普及や、必要な情報の提供とその情報を活用するための支援が必要です。 このため、市のホームページに相談窓口の一覧表や支援策を紹介するページを立ち上げる予定です。 また、保健所、警察、学校、医療機関、民生委員等との連携と情報の共有については、今後、重点的に取り組んでいきたいと考えています。

## No 4

意見の概要	自殺が起こる背景や自殺者・自殺未遂者の特性について、把握して分析をされたい。
市の考え方	消防署から毎月の自殺に関する救急出動件数、既遂・未遂の別、男女の別等の情報を収集し、江南市における自殺の現状把握に努めていきます。また、自殺死亡者の2倍に及ぶ自殺未遂者の、再度の自殺企図を防ぐための対策についても、しっかりと検討していく必要があると考えています。

## No 5

意見の概要	今後の課題として、自殺未遂者や自死遺族に対する支援を関係機関と連携して検討されたい。
市の考え方	自殺対策が進む中、自死遺族支援については、未だ遅れが目立つ分野で、江南市においても、現時点での具体的な取り組みはありません。今後、国の「自殺総合対策大綱」に基づき、遺族への情報提供や自助グループ等への支援についても、検討していきたいと考えています。

## No 6

意見の概要	学校等で小中学生に対する自殺予防教育を積極的に推進されたい。
市の考え方	小中学校では保健体育や「いのちの学習」の授業において、「いのちの大切さ」や「遺された者の痛みや悲しみ」などの教育が行われています。目標指標にあります「自殺者の減少」のために、今後も学校と関係機関の連携を図り、自殺予防の教育を進めていきます。